

## ■取付作業上の注意事項



●エアサスの取付は、重要保安部品の作業となります。取付作業に必要な設備と資格のある工場や、専門のショップへ依頼して下さい。又、取付交換作業は、自動車メーカー発行の整備手順書を熟読し行って下さい。

●取付作業時のジャッキアップ及び、リジットラック使用時は、必ず平坦な安定した場所で行って下さい。又、リジットラック使用時であってもボディー落下防止のため、必ず安全ブロック等で安全対策を講じて下さい。作業を行う場合は、必ずメーカー指示位置にてジャッキアップし、リジットラックをご使用下さい。

●純正のストラットユニットを交換する際、誤って、アッパーマウントロックナットを外さないで下さい。外すと、スプリングが飛び出して非常に危険です。人身事故に繋がりますので絶対にお避け下さい。

●走行直後は、タイヤ、ホイール、マフラー、ブレーキ等が高温になっています。火傷の危険性がありますので、各部が、十分に冷えてから作業を開始して下さい。

●エアサスペンションのエアバネ部はゴム製です。取付作業時には、下記の点にご注意下さい。本来の性能が劣化し、事故に繋がります。

- ・鋭利な工具や刃物、金属片等の接触によるゴム部のキズがないか。
- ・高温部分への接触や、溶接の火花やスパッター、オゾンによるゴム部の劣化がないか。
- ・酸、アルカリ、有機溶剤、油類のような有機剤 の付着によるゴム部の劣化がないか。

●エアサスペンションキット各部へのエア配管は、必ず無加圧状態で行って下さい。取扱説明書に従い、確実に配管して下さい。配管の抜け、エア漏れ等で、走行状態が悪化する場合があります。

●コンプレッサーを連続使用しないで下さい。一度エアタンクが満タンになると、コンプレッサーの温度が下がるまでなるべく使用しないで下さい。コンプレッサーの連続使用による故障については、保証できません。連続使用する方は、大容量のコンプレッサーへの交換をお勧めします。

●コンプレッサーを連続で使用すると、発熱し高温になります。発火しやすい物が近くにあると、火災の原因となります。火傷やケガには、十分ご注意ください。

●コンプレッサーは、防水タイプではありません。水のかからない場所へ取付けて下さい。

●システムユニットBOXは、確実に固定し、走行に支障のないように取付けて下さい。重大な事故の原因になる場合があります。

●取付後は、整備手順書、本取扱説明書に従って、正常に取付けられているか、尚且つ車体に異常な状態がないか、十分にチェックして下さい。異常があれば、正常な状態になるよう、作業のやり直しを行って下さい。



●バッテリープラスターミナルからの直接配線は、不慮のバッテリー上がりの原因となります。アースは金属部、塗装のない場所、又はバッテリーマイナスターミナルへ確実に配線して下さい。

●コントロールユニット又はコントロールパネルまでの配管と、配線が終了しましたら、下記の手順で、コンプレッサーの作動テストを行って下さい。メインキーをオンにしますと、コンプレッサーはタンクへ空気圧入を開始します。タンクが所定の圧力に達すると、コンプレッサーは、運転を停止します。

## ■サスペンションの取付け



●サスペンションやストラット可動時に、ホースの抜けを防ぐため、余裕を持った配管、ホースの固定を行って下さい。ステアリング等の可動テストも必ず行って下さい。又、マフラー等、高温になる部分等への接触がないかチェックして下さい。必要に応じてコルゲートチューブなどでの保護をお勧めします。

●リアサスペンションの取付時には、リアエアサスの抜け防止のため、固定ボルトは必ず締めて下さい。

●詳しくは別紙の車種別取扱説明書を参考に取付けをして下さい。

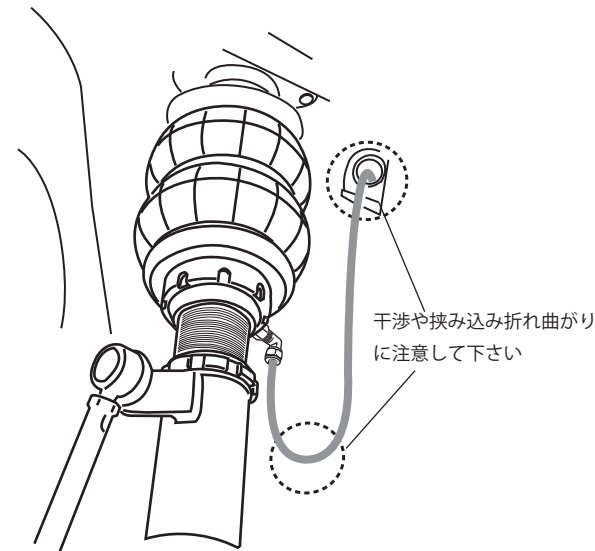
取付け後、以下の点を必ずご確認ください。

- ・異音や異常がないか。
- ・エアバック、エアスリーブにエアーを入れ、何かに干渉していないか。
- ・車重がかかると横方向に膨らみますので、クリアランスがあるか確認後、干渉するボルト等は削ってください。その他干渉のある場合は弊社までご連絡ください。

※エアバック・エアスリーブの干渉は重大な事故につながる恐れがあります。取り付け後必ず確認作業を行ってください。



**警告** 干渉による破損は保証対象外です。



**ノンスリーブ継手**

注意：シールテープは使用しない。

直角  
ホースを根元までしっかり入れて下さい

●図のようにホースを差し込み、手で回らなくなってから、スパナで2~3回転回して下さい。

ホース外径	締付トルク
1/4	32~50kgf・cm
3/8	70~100kgf・cm

**減衰調整方法**

減衰力下げる (やわらかめ)  
減衰力上げる (かため)

注意：カチカチ音でバルブ位置をご確認ください



- ホースはカッター等でまっすぐ直角にカットして下さい。オプションのホースカッターの使用をお勧めします。
- ホース挿入部にキズ又は汚れがある場合は、カットするか、新しいものに交換して下さい。エア漏れの原因となります。
- 一度外した継手を再利用される場合は、ネジ部のシール剤をきれいに清掃し、再度シール剤やシールテープを付け直してから取付けて下さい。